

# 北社会ニュースオ85号

2012年10月18日

発行者：鈴木壮夫

10月も下旬になり、涼しいというよりはやや寒く、やっと秋の季節になりました。北社会が300回を迎えた7月以降、私達世話人は北社会を同窓生の皆様の『人生の宝』と認識いただけるよう、意見を交換しあっております。「北社会に行ってみようかな」と関心を抱いていただけるよう企画、運営を心がけてまいります。お気付きの改善点そこここにいっぱいあると思います。どうぞ、お気軽に世話人にお声掛け下さい。

青山史朗大先輩（中40回）から12月発行の同窓会報に寄稿するようご連絡をいただきましたので『北社会 祝300回 1975年～2012年』の原稿を送付しました。そして、若い世代との交流を実現したく、北社会としては多分初めてですが師走の12月に“忘年会”を企画中です。より多くの同窓生の皆様のご参加をお願い致します。

## (1) 10月23日(火)開催 第302回 北社会

講師：佐々木賢一氏（高37回） トライポッドワークス社長

佐々木さんのご活躍振りをマスコミで知り、仙台が活躍の舞台とも伺い、仙台のご出身なのかと思っていた矢先、仙台北陵会の世話人・阿部孝一氏から5月21日佐々木氏にご講演いただいた、“IT企業社長の素晴らしい活動”を北社会にもご推薦しますとの、ご連絡がありました。そして、佐々木氏が二高の同窓ということもその時知りました。

テーマ：「仙台におけるITビジネスの可能性」

IT産業と地方経済の現状を踏まえ、仙台からも成長できるビジネスモデルを生み出したい。ローカルの強みを活かしてグローバルに事業を展開することを目指すITベンチャーの事業について、これまでの経験や現状、今後の目標について生々しくお話いただきます

## (2) 11月20日(火)開催 第303回 北社会

講師：吉田 明氏（高16回）元・朝日新聞社記者 退職後中国メディアで活躍

テーマ：「中国国営メディアで暮らした7年～日本専門家として見えたもの」

1995年、朝日新聞退社、中国国際放送局（北京放送）に日本専門家として4年間、その後清華大学で日本語、日本事情を担当。中国のメディア事情、ネットの世界、そして「反日」は本当にあるのか、庶民の暮らしぶり等々について中国を率直にお話いただきます。最近の日中間のぎくしゃく、とても興味ありますね。

（私、鈴木壮夫も1986年から約3年間、商社マンとして北京に駐在しておりました。単身赴任でしたが、今迄の71年の人生で世俗に関わらない素晴らしい生活でした）

## (3) 高11回・ピンピン会発行・東日本大震災の記録

『我ら歴史の生き証人』 その時私は・・・ 価格：1000円

同期会の世話人会にて「俺達は不幸せにも、1000年に一度の大地震に出っくわしたんだよな、いわば歴史の生き証人だっちゃん、何か残してえな。」というのが本紙編集のきっかけでした。仙台のピンピン会会員が頑張って作ってくれました。ご講読下さい！！